

令和6年度
公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会
事業計画書



公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

(ver-1)

目次

- I. 事務部
- II. 組織部
- III. 渉外部
- IV. 広報部
- V. 公益活動部
- VI. 精度管理部
- VII. 学術部
- 予算計画 (未)

I. 事務部

適正な法人運営が行われるよう、各種事項の管理・運営を行う

1. 令和6年度定期総会
開催日：令和6年6月7日（金） 開催場所：草津市立市民総合交流センター（予定）
2. 理事会の開催（定例：毎月第1水曜日、又は、必要に応じ）
3. 常務理事会の開催（必要に応じ）
4. 法人に関する各種契約・申請・報告に関することの管理
5. 技師会会議室の管理・運営（利用向上の促進）
6. 会員・関連団体の慶弔に関すること
7. 関連団体との連帯強化
8. タスク・シフト実技講習会に関すること
9. その他、法人運営に関すること

*タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

第5回実技講習会 令和6年10月27日（日） 医療研修施設「ニプロ iMEP（アイメップ）」（予定）

第6回実技講習会 令和7年3月 医療研修施設「ニプロ iMEP（アイメップ）」（予定）

タスク・シフト/シェアに関するワーキンググループ

| 役名 | 氏名 | 所属施設 |
|--------|--------|--------------------|
| 実務責任者 | 西尾 久明 | 社会医療法人誠光会 淡海医療センター |
| 実務副責任者 | 守安 岳征 | 大津赤十字病院 |
| 実務委員 | 大本 和由 | 済生会守山市民病院 |
| 実務委員 | 西村 精児 | 近江八幡市立総合医療センター |
| 実務委員 | 北村 友利子 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| 実務委員 | 足立 徹 | 医療法人 弘英会 琵琶湖大橋病院 |
| 実務委員 | 湯本 浩史 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| 実務委員 | 清水 治美 | 自宅 |
| 実務委員 | 一岡 英樹 | 市立野洲病院 |
| 実務委員 | 小中 茂吉 | 市立野洲病院 |

II. 組織部

会員管理は元より、新入会員研修、青年部会、施設代表者会、厚生事業などを通じ、会員の交流を図りながら情報交換・情報共有の場とし組織強化を図る。

1. 会員管理
2. 新入会員研修会 開催日：令和6年8月（予定）
新入会員の技師会に対する理解を深める研修会を開催する。会員と役員との交流を通じて技師会活動、生涯教育、学術活動、青年部等 積極的な参画を促す。
青年部部員にも参加を願う。
3. 青年部研修会 年間2回開催 開催日未定
これからの技師会活動を担う後継者の育成を目的とし、青年部の基盤づくりを促す。
4. 施設代表者会（臨床検査技師長・責任者会議） 令和7年3月（予定）
技師会活動の話題、問題点等を討議する機会を持つ共に、会員間の交流、情報交換を促す。
5. 地域ニューリーダー育成研修会（施設代表者会議と合同開催 予定）
中堅以上の経験を有する者を対象に、滋賀県技師会で活躍できる次世代のリーダー育成を目的とする研修会を開催する。
6. 永年会員表彰 滋賀学会にて表彰 対象：滋臨技継続10年以上で、45歳以上の会員
7. 未加入技師への入会促進
組織強化の観点より、未加入技師の所属施設長から積極的に勧誘する。
8. 厚生事業（令和6年10月予定） 会員の親睦を図るために、レクリエーションを行う。

9. 地区懇 （開催は各地区に委ねる）

青年部

1. 新入会員研修会（参画） 開催日：令和6年8月（予定）：組織部主催
滋賀県臨床検査技師会が行う新入会員研修会に、青年部も宣伝を兼ねて、事業紹介の一部に入れさせていただく。
研修会には青年部委員も可能な限り参加し、新入会員の技師会事業への理解・他の技師との交流を深められる「架け橋」を担いたい。
2. 青年部研修会 **（※コロナ禍の感染状況を考慮して web または現地開催）**
開催日：未定 場所：未定
年一回以上の、県内若手会員に絞った研修会を企画・立案する。
今年度は、日当直業務や休日業務をテーマとし、各学術研究班とのコラボ企画として合同研修会を開催する。また若手会員の交流を図るため、前年度と同様の意見交換会も企画・実行する。コラボ企画や意見交換会の日程・会場などに関しては今後の青年部会議で決めていき、web または現地開催で行うかを検討していく。
3. 青年部部会
今後の青年部研修会の内容や、技師会の組織活性化となるような企画の立案・会議を行うため、月1回程度の青年部会を行う。

Ⅲ. 渉外部

当会の活動にご理解・ご賛同いただける、企業・団体様へ「賛助、協賛、広告」を呼びかけ協力をお願いする。また、医療関連団体との交流を図る。

1. 医療関係企業への賛助会員への加入の推進を図る。
2. 医療関係企業への会誌（滋臨技だより）広告の協力依頼を図る。
3. 医療関係企業への滋賀県医学検査学会における学会賛助並びに滋賀医学検査誌広告の協力依頼を図る。
4. 関係団体との連携・交流に関する事
5. その他渉外に関する事（啓蒙宣伝・関係法規など）

Ⅳ. 広報部

講演会・研修会などの案内、臨床検査に関すること、理事会など各種活動報告、会員動向、求人に関すること、会員からの寄稿・投稿などを、会誌・ホームページを通じ掲載・配信する。メーリング会員の登録促進を図る。

1. 会誌「滋臨技だより」の発行
会員への情報伝達手段として、年5回発行する。原稿募集や編集の方法は随時工夫する。
 - ・学会や研修会等の予定・報告の掲載
 - ・各行事報告の掲載
 - ・会員からの投稿・寄稿の掲載
 - ・行事・研修会等の予定の掲載
 - ・理事会議事録・会員動向等の掲載
2. 研修会予定表」の発行
会誌（滋臨技だより）と同時に発行（年5回）とし、滋臨技主催の行事に参加するためのツールとして情報発信を行う。
 - ・予定表による研修会、事業の案内
3. ホームページによる広報活動
会員が必要情報を早く、わかりやすく、アクセスできるようにホームページを随時更新する。
 - ・日臨技・滋臨技研修会、精度管理、事業等の案内
 - ・学会情報案内
 - ・会誌「滋臨技だより」の公開
 - ・求人情報の掲載
 - ・新着情報の掲載
 - ・研修会案内メール・求人情報案内メールの発信
4. ホームページ委員会の開催
ホームページの運営を適正に行うため、委員会規程に従って協議する。年1回開催

V. 公益活動部

公益社団法人として、臨床検査の知識の普及・啓発を行い県民の健康づくりへの意識を高揚させるため、各地域の健康フェスティバルに参加する。また、日本臨床検査技師会の「臨床検査と健康・普及啓発月間」の11月には「検査と健康展」の地方会場として開催する。

企画の内容は、パネル展示や配付資料を用いて、臨床検査技師の業務や当会の事業を理解していただくとともに、検査を体験することで臨床検査を身近に感じていただく。更に小学生・中学生又は高校生を対象に臨床検査技師の仕事に興味を持てるよう、簡単な検査模擬体験などを行う。

- 健康フェスティバルへの参画 (対象：県民・市民)
 - ①一地区 長浜市健康フェスティバル 日時：令和6年5月頃 会場：長浜バイオ大学
 - ②二地区 湖南市健康まつり 日時：令和6年10月頃 会場：湖南市保健センター
 - ③三地区 大津市健康フェスティバル 日時：令和6年10月中旬 会場：明日都浜大津
 - ④その他要望があり、対応可能な時
- 滋賀レイクファミリーボランティア協力 開催日：令和6年7月～8月(予定) 開催場所(未定)
- 第9回 全国「検査と健康展」 (対象：県民・市民)
日時：令和6年11月(予定) 場所：イオンモール草津(予定)
内容：検査と健康展(臨床検査技師紹介、がん検診・認知症検査啓発、臨床検査模擬体験、健康チェック体験・献血紹介 他)
- 滋賀県がん医療フォーラム協力 日時：令和7年2月(未定) 場所：未定 内容：リーフレット配布、講演のオンライン配信紹介

公益活動推進委員の変更

| | | | |
|----|--------|----------------------|----|
| 委員 | 内林 佐知子 | 滋賀医科大学医学部附属病院 | |
| 委員 | 市浦 康子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 | |
| 委員 | 秋永 佳那 | 高島市民病院 | |
| 委員 | 小寺 あおい | 近江八幡市立総合医療センター | |
| 委員 | 櫻井 千尋 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 | 新任 |
| 委員 | 國本 龍牙 | 滋賀県立総合病院 | 新任 |
| 委員 | 池本 早希 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 | 退任 |
| 委員 | 秋井 啓輔 | 滋賀県立総合病院 | 退任 |

VI. 精度管理部

滋賀県内医療の均てん化と向上を目的に、臨床検査精度管理を実施する。

日臨技の精度管理システム JAMT-QC を活用した精度管理事業を継続する。

- 精度管理部会代表者会議 開催日：令和6年4月、10月、令和7年1月 (3回開催予定)
- 各部会精度管理報告会 (対象：医師、会員、他) 開催：各部会にて調整
- 令和6年度 臨床検査精度管理報告会 (対象：医師、施設長、検査責任者、会員、他)
開催日：令和7年2月 (予定)
- 各部会別事業計画

免疫化学部会

【生化学項目】

施設間差の是正及び正確性、精密性の追求を目的として実施する。項目は、AST、ALT、LD、CK、ALP、 γ -GT、ChE、AMY、GLU、TP、ALB、UA、UN、CRE、T-Bil、Ca、IP、Mg、Fe、Na、K、Cl、T-CHO、HDL-C、LDL-C、TG、HbA1c、CRP、感染症(HBs抗原・HCV抗体・TP抗体)、腫瘍マーカー(PSA)、甲状腺(TSH)の33項目とする。項目ごとに評価を行い、目標値と乖離している施設については再度サーベイを実施する。またアンケート調査を予定している。(実施項目・要望・改善点など)

血液部会

全血球計数、凝固検査は機器間差や試薬間差の把握・是正を目的とする。

血液像は正常細胞、異常を伴う細胞及び幼若細胞鑑別について施設間差の把握・是正を目的とする。

実施項目は、全血球計数（WBC、RBC、HGB、HCT、MCV、PLT、白血球分類、網状赤血球）、凝固検査（PT、APTT、FIB）、血液像（細胞分類、所見、疾患）とする。

血液像は、JAMT-QC 上に写真を掲載し、細胞の分類と所見、疾患名についてサーベイを行う。

評価項目は、全血球計数（WBC、RBC、HGB、HCT、MCV、PLT、白血球分類（好中球、リンパ球）、網状赤血球、凝固検査（PT（INR）、APTT、FIB）、血液像（細胞、所見、疾患名）とする。

生理部会

生理機能に関する波形や画像等の判定基準が、検査室において一定の水準と精度が保たれていることの確認および保証を目的とする。方法はフォトサーベイとし、昨年同様 JAMT-QC を利用する。

心電図、呼吸機能、超音波、脳波分野からの出題とする。

輸血部会

血液型、交差適合試験、試験管法による凝集反応の判定及び直接抗グロブリン試験について赤血球型検査ガイドラインに基づいた輸血検査を浸透させること、および、不規則抗体の検査症例をドライスタディ形式で実施し、消去法の実施や適切な適合血の選択ができることを目的とする。また、一定の評価に達しない施設へは指導を行い検査精度の向上を図る。

一般部会

尿定性検査、便潜血検査、フォトサーベイについての評価を行う。

尿定性検査は尿試験紙・測定機器間差における是正を目的とする。

代表項目 3 項目(蛋白・糖・潜血)各 2 濃度について実施し、評価を行う。

便潜血検査は採便手技・測定機器間差における是正を目的とする。3 濃度の擬似便の配布を行い評価する。

フォトサーベイ検査は尿沈渣検査、髄液検査を中心とした一般検査分野における形態検査の標準化を目的とする。JCCLS-GP1P4(尿沈渣検査法 2010)に基づき、基本的な成分について出題する。設問数は 11 問(内、1 問は教育問題)とし、髄液検査は細胞分類に関する設問を出題する。

細胞部会

フォトおよび染色サーベイを行う。

フォトサーベイ：各領域の基本的な症例を中心に、細胞像のとらえ方および推定病変までの導き方について、施設間差の有無を把握することを目的とする。設問の閲覧および解答には JAMT-QC を利用する。サーベイ終了後には「標本検討会」を行い、検鏡による確認も行う。

染色サーベイ：細胞診の一般染色である Papanicolaou 染色の染色性評価を目的とする。指定した材料の標本を提出していただき、標本検討会において参加者および精度管理委員による 3 段階評価を行う。

病理部会

HE 染色は病理組織診断をも左右する非常に重要な染色であることから、染色までの工程を実施し、併せて特殊染色としてマッソン・トリクローム染色を実施する。

微生物部会

グラム染色は日常検査で見落としとしてはいけない菌や代表的な菌の標本を作製し、各施設にて実際にグラム染色を実施していただき、染色性および形態、推定菌名、臨床への報告コメント等について評価を行う。

同定検査は食中毒などの起炎菌と血液や髄液などから検出される重要な菌を中心に出题し、同定菌名だけでなく同定過程、臨床への報告コメント等について評価を行う。

薬剤感受性検査は内部精度管理株（ATCC 株）を使用し、日頃の各施設の精度管理結果と比較できるように菌株を選定する。

※担当理事の任期は令和6年度定期総会まで

| 精度管理部門 | 委員 | 役名 | 氏名 | 所属施設 |
|----------|----|-----|--------|----------------------|
| 精度管理委員 | | 委員長 | 元中 秀行 | 滋賀県立総合病院 |
| 精度管理担当理事 | | 会長 | 大本 和由 | 済生会守山市民病院 |
| 精度管理担当理事 | | 部長 | 梅村 茂人 | 滋賀県立総合病院 |
| 精度管理担当理事 | | 会計 | 曾川 知里 | 公立甲賀病院 |
| 免疫化学部会 | | 代表 | 松川 裕一 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | | 副代表 | 足立 勇吾 | 大津赤十字病院 |
| | | 副代表 | 山本 誉 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | | 委員 | 近藤 拓也 | 市立大津市民病院 |
| | | 委員 | 谷 和也 | 株式会社 メディック |
| | | 委員 | 古谷 善澄 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | | 委員 | 松田 哲明 | 大津赤十字病院 |
| | | 委員 | 一瀬 亮介 | 市立大津市民病院 |
| | | 委員 | 藤村 博和 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | | 委員 | 本條 綾菜 | 大津赤十字病院 |
| | | 委員 | 前田 知広 | 近江八幡市立総合医療センター |
| | | 委員 | 池本 早希 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| | | 委員 | 加藤 遼 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | | 委員 | 平 隆一 | 市立野洲病院 |
| 血液部会 | | 代表 | 上野山 恭平 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | | 委員 | 梅村 茂人 | 滋賀県立総合病院 |
| | | 委員 | 筒川 美裕 | 蒲生医療センター |
| | | 委員 | 櫻井 太紀 | 彦根市立病院 |
| | | 委員 | 尾崎 和美 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | | 委員 | 大津 一晃 | 大津赤十字病院 |
| 生理部会 | | 代表 | 松本 俊一 | 彦根市立病院 |
| | | 委員 | 藤澤 義久 | 滋賀医科大学附属病院 |
| | | 委員 | 駒井 貴美子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | | 委員 | 虎谷 貴志 | 大津赤十字病院 |
| | | 委員 | 岩嶋 真之 | 長浜赤十字病院 |
| | | 委員 | 清水 千尋 | 彦根市立病院 |
| | | 委員 | 山本 祐己 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| 輸血部会 | | 代表 | 西村 好博 | 彦根市立病院 |
| | | 委員 | 山下 朋子 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | | 委員 | 豊川 美文 | 彦根市立病院 |
| | | 委員 | 大濱 愛 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |

| | | | |
|-------|----|--------|----------------------|
| | 委員 | 大橋 亮太 | 市立長浜病院 |
| | 委員 | 神谷 美鈴 | 滋賀県立総合病院 |
| 一般部会 | 代表 | 山田 真以 | 彦根市立病院 |
| | 委員 | 新井 未来 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 委員 | 村木 雅哉 | 高島市民病院 |
| | 委員 | 植松 耕平 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | 委員 | 朝枝 祐太 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| | 委員 | 西村 さとみ | 長浜赤十字病院 |
| | 委員 | 余根田 直人 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| 細胞部会 | 代表 | 吉田 章子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | 委員 | 山内 盛正 | 長浜赤十字病院 |
| | 委員 | 重野 恭子 | 近江八幡市立総合医療センター |
| | 委員 | 山口 大 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 委員 | 園滝 友衣奈 | 市立大津市民病院 |
| | 委員 | 小栗 大助 | 大津赤十字病院 |
| 病理部会 | 代表 | 前田 賢矢 | 市立大津市民病院 |
| | 委員 | 水上 利嗣 | 株式会社 TNR 病理センター |
| | 委員 | 大森 康旨 | 大津赤十字病院 |
| | 委員 | 林 裕司 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 委員 | 北川 勇一 | 近江八幡市立総合医療センター |
| 微生物部会 | 代表 | 福田 峻 | 彦根市立病院 |
| | 委員 | 元中 恵 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 委員 | 栗村 浩二 | 地方独立行政法人 市立大津市民病院 |
| | 委員 | 塚口 扶美枝 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 委員 | 向井 理紗 | 近江八幡市立総合医療センター |
| | 委員 | 西野 広将 | 長浜赤十字病院 |

Ⅶ. 学術部

臨床検査技師の生涯教育を推進するために、講演会・研修会・学会を開催する。基礎的および専門的な知識・技術の習得に加えて、タスク・シフト/シェアおよび、多職種連携を見据えて今後さらに活躍できるスキルを持ち合わせた臨床検査技師の養成を目指す。

1. 学術部門長会議 年2回開催（令和6年4月、11月開催予定）
2. 滋賀医学検査編集委員会会議 年1回開催
3. 学術論文雑誌「滋賀医学検査」Vol.15の発刊
4. 第47回滋賀県医学検査学会（第1地区担当）
開催日：令和7年2月または3月 場所：未定
5. 学術部門活動
 - (1) **臨床免疫化学部門**
若手技師からベテラン技師まで日常業務に活かすことができる知識の習得を目指し、研修会を開催する。参加者が気軽に参加しやすい Web 研修会も継続しつつ、現地開催も企画し、会員間の意見交換の場を提供する。
 - 1) 内 容 自動分析装置、搬送システム関連
開催日 令和6年4月中 開催場所 未定
講 師 メーカー学術講師
 - 2) 内 容 血液ガス関連
開催日 令和6年5月下旬 開催場所 未定
講 師 ラジオメーター株式会社 学術講師
 - 3) 内 容 HbA1c 関連

| | | | | |
|-----|---|--|------|--------------|
| | 開催日 | 令和6年7月上旬 | 開催場所 | オンライン配信 |
| | 講師 | 東ソー株式会社 学術講師 | | |
| 4) | 内容 | 日当直、休日業務に関する研修会（青年部・免疫化学・生理・血液・一般・輸血合同研修会） | | |
| | 開催日 | 令和6年9月中 | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 臨床免疫化学検査部門委員（各部門委員） | | |
| 5) | 内容 | 伝染性単核球症と免疫検査 | | |
| | 開催日 | 令和6年11月中 | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | デンカ株式会社 | | |
| 6) | 内容 | 正確なデータを提供するために考えること | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和7年1月中 | 開催場所 | オンライン配信 |
| | 講師 | 天理大学 医療学部 臨床検査学科 畑中徳子 先生 | | |
| (2) | 臨床生理部門 | | | |
| | 生理検査の基礎を学び、確かな生理検査技術の共有を目指す。 | | | |
| 1) | 内容 | 心電図について | | |
| | 開催日 | 令和6年5月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 県外技師 | | |
| 2) | 内容 | 神経伝導検査 | | |
| | 開催日 | 令和6年7月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | メーカー学術担当 | | |
| 3) | 内容 | エコーハンズオン | | |
| | 開催日 | 令和6年8月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 県内、県外技師 | | |
| 4) | 内容 | 日当直、休日業務に関する研修会（青年部・免疫化学・生理・血液・一般・輸血合同研修会） | | |
| | 開催日 | 令和6年9月中 | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 臨床生理検査部門委員（各部門委員） | | |
| 5) | 内容 | 心不全について | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和6年11月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 県内医師 | | |
| 6) | 内容 | エコー症例検討会 | | |
| | 開催日 | 令和6年12月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 県内技師 | | |
| 7) | 内容 | 表在エコーについて | | |
| | 開催日 | 令和7年1月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 県内、県外技師 | | |
| 8) | 内容 | 腹部エコーについて | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和7年2月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 県外技師もしくは県外医師 | | |
| (3) | 臨床血液部門 | | | |
| | 血液検査におけるトピックや知見を参加者の方々に共有してもらい、習得していただく。また、会員同士の交流・情報交換の場を提供し、日々の疑問や問題の解決に役立ててもらおう。 | | | |
| 1) | 内容 | 認定取得に向けて | | |
| | 開催日 | 令和6年6月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 未定 | | |
| 2) | 内容 | 日当直、休日業務に関する研修会（青年部・免疫化学・生理・血液・一般・輸血合同研修会） | | |
| | 開催日 | 令和6年9月中 | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 臨床血液部門委員（各部門委員） | | |
| 3) | 内容 | 滋賀医大池本技師長記念講演（予定） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和6年12月（予定） | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 池本敏行 氏（予定） | | |
| 4) | 内容 | 遺伝子関連の内容（遺伝子・染色体部門との合同研修会） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和7年2月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講師 | 未定 | | |
| (4) | 病理細胞部門 | | | |

病理・細胞検査業務に必要な知識の取得・技術の向上を目的とする。

- | | | | |
|----|-----|---|-----------------|
| 1) | 内 容 | 動画で学ぶ病理関連技術：滋賀版 Ver.4～術中迅速組織検査～ | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 仮) 令和 6 年 6 月 | 開催場所 Web 開催 |
| | 講 師 | 県内技師 | |
| 2) | 内 容 | 1、消化器領域における細胞診を学ぶ（講義） 2、消化器領域における細胞診を学ぶ（実習） | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 仮) 令和 6 年 8 月 | 開催場所 仮) 滋賀医大 |
| | 講 師 | 県外技師 | |
| 3) | 内 容 | 精度管理標本検討会 臨床検査技師による評価 | |
| | 開催日 | 仮) 令和 6 年 9 月 | 開催場所 仮) 長浜バイオ大学 |
| | 講 師 | 水上利嗣 技師（株式会社 TNR 病理センター） 吉田章子 技師（独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院） | |
| 4) | 内 容 | 最新の AI 技術について | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 仮) 令和 6 年 12 月 | 開催場所 Web 開催 |
| | 講 師 | 医師 | |

(5) **臨床一般部門**

日常業務に必要となる基礎的および専門的な知識・技術の習得を目的に研修会を開催する。また会員同士の交流・情報交換の場としてだけでなく、今後の安定的な技師会活動のための新たな人材発掘や育成を目的とする。

- | | | | |
|----|-----|--|--------------|
| 1) | 内 容 | 尿沈渣検査 基礎 | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 6 年 7 月 | 開催場所 Web 開催 |
| | 講 師 | 部門委員 | |
| 2) | 内 容 | 日当直、休日業務に関する研修会（青年部・免疫化学・生理・血液・一般・輸血合同研修会） | |
| | 開催日 | 令和 6 年 9 月中 | 開催場所 未定 |
| | 講 師 | 臨床一般部門委員（各部門委員） | |
| 3) | 内 容 | 尿沈渣（髄液）から学ぶ症例 | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 6 年 11 月 | 開催場所 Web 開催 |
| | 講 師 | 部門委員 | |
| 4) | 内 容 | 臨床微生物部門との合同研修会 | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 6 年度中 | 開催場所 未定 |
| | 講 師 | 未定 | |

(6) **輸血細胞治療部門**

輸血検査の基礎的な講習会や実技講習会を開催する。また、滋賀県下の施設で安全な輸血医療が行われるために、輸血療法全般に関する学術講演会を開催するほか、チーム医療の観点から滋賀県輸血療法委員会との共同事業として他職種を交えての公開研修会も開催する。

- | | | | |
|----|-----|--|---------------|
| 1) | 内 容 | 輸血検査基礎講習会 | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 6 年 5 月 26 日（日）14:00～ | 開催場所 市立大津市民病院 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員ほか | |
| 2) | 内 容 | 輸血検査実技講習会 | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 6 年 7 月 7 日（日）9:00～ | 開催場所 長浜バイオ大学 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員ほか | |
| 3) | 内 容 | 日当直、休日業務に関する研修会（青年部・免疫化学・生理・血液・一般・輸血合同研修会） | |
| | 開催日 | 令和 6 年 9 月中 | 開催場所 未定 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員（各部門委員） | |
| 4) | 内 容 | 輸血検査学術講演会 | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 6 年 11 月 24 日（日）13:30～ | 開催場所 未定 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員 | |
| 5) | 内 容 | 輸血医療学術講演会（滋賀県輸血療法委員会共同事業） | |
| | 開催日 | 令和 7 年 2 月 1 日（土）14:00～ | 開催場所 未定 |
| | 講 師 | 未定 | |

(7) **臨床微生物部門**

微生物検査の知識と技術の向上を目的とし、チーム医療への参画についても考える。さらに各施設との情報交換となる機会をつくる。

- 1) 内 容 最新の微生物検
1. 生化学的性状と MALDI TOF MS の概要
2. 生化学的性状から MALDI TOF MS への変更経験について
3. 生化学的性状で困った！ SCV への対応
4. CLSI の改定点
開催日 令和 6 年度中予定 開催場所 未定
講 師 未定
- 2) 内 容 結核菌をはじめとする抗酸菌検査について
開催日 令和 6 年度中予定 開催場所 未定
講 師 未定
- 3) 内 容 耐性菌アップデート 日臨技生涯教育推進研修会
開催日 令和 6 年 12 月予定 開催場所 未定
講 師 未定
- 4) 内 容 一般検査部門との合同研修会 日臨技生涯教育推進研修会
開催日 令和 6 年度中 開催場所 未定
講 師 未定
- (8) 遺伝子・染色体部門
ここ最近、がん遺伝子パネル検査の保険適応に伴う急激な普及や、がんゲノム医療の急激な膨張に加え、新型コロナウイルス感染症の PCR をはじめてとした検査の拡大。急激な変化に伴い現場では混乱や人材不足の問題も生じている。研修会を通じて、会員たちが一堂に会し、出会い、相互に情報交換が出来る機会になればと思う。
- 1) 内 容 がんゲノム医療の最新トピックス（予定） 日臨技生涯教育推進研修会
開催日 令和 6 年 10 月 開催場所 Zoom 配信
講 師 調整中
- 2) 内 容 遺伝子関連の内容（臨床血液部門との合同研修会） 日臨技生涯教育推進研修会
開催日 令和 7 年 2 月予定 開催場所 県内施設
講 師 未定
- (9) 学術部門
次期新興感染症に備え、PCR 検査や検体採取をできる人材育成を目指す。
- 1) 内 容 PCR 検査（精度管理含む）
開催日 令和 6 年 未定 開催場所 長浜バイオ大学
講 師 メーカー学術担当者
- 2) 内 容 災害医療と検体採取
開催日 令和 6 年 未定 開催場所 長浜バイオ大学
講 師 医師、県内技師

| 学術部門 委員 | 役名 | 氏名 | 所属施設 |
|----------|------|-------|----------------------|
| 臨床免疫化学部門 | 部門長 | 一瀬 亮介 | 地方独立行政法人 市立大津市民病院 |
| | 副部門長 | 齊藤 健太 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| | 会計 | 山本 誉 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 委員 | 谷 和也 | 株式会社メディック |
| | 委員 | 松川 裕一 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | 委員 | 松田 哲明 | 大津赤十字病院 |
| | 委員 | 元中 秀行 | 滋賀県立総合病院 |
| | 委員 | 藤村 博和 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 委員 | 井上 雄斗 | 自宅会員 |
| | 委員 | 平 隆一 | 市立野洲病院 |
| | 委員 | 森田 翔 | 長浜赤十字病院 |
| | 委員 | 塚元 菜月 | 滋賀県立総合病院 |

| | | | |
|----------|--------|--------|----------------------|
| 臨床生理部門 | 部門長 | 中島 辰也 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 副部門長 | 森 真奈美 | 滋賀県立総合病院 |
| | 副部門長 | 栗本 明典 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 会計 | 駒井 貴美子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | 委員 | 藤澤 義久 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 委員 | 鮎川 宏之 | 滋賀県立総合病院 |
| | 委員 | 森 亘平 | 地方独立行政法人 市立大津市民病院 |
| | 委員 | 高橋 和也 | 長浜赤十字病院 |
| | 委員 | 近藤 里帆 | 彦根市立病院 |
| 臨床血液部門 | 部門長 | 中西 良太 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 副部門長 | 橋口 篤 | 大津赤十字病院 |
| | 会計 | 中川 美波 | 長浜赤十字病院 |
| | 委員 | 梅村 茂人 | 滋賀県立総合病院 |
| | 委員 | 田邊 正喜 | 彦根市立病院 |
| | 委員 | 中川 和美 | 社会医療法人誠光会 淡海医療センター |
| | 委員 | 深田 晃穂 | 地方独立行政法人 市立大津市民病院 |
| | 病理細胞部門 | 部門長 | 土田 弘次 |
| 副部門長 | | 森口 裕紀 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| 会計 | | 谷村 満知子 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| 委員 | | 古賀 一也 | 市立長浜病院 |
| 委員 | | 嶋村 成美 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| 委員 | | 谷口 裕美 | 滋賀県立総合病院 |
| 委員 | | 秋永 佳那 | 高島市民病院 |
| 委員 | | 由藤 果住 | 社会医療法人誠光会 淡海医療センター |
| 臨床一般検査部門 | 部門長 | 新井 未来 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 副部門長 | 山田 真以 | 彦根市立病院 |
| | 会計 | 植松 耕平 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | 委員 | 早寄 邦子 | 近江八幡市立総合医療センター |
| | 委員 | 山田 奈穂 | 滋賀県立総合病院 |
| | 委員 | 松田 哲明 | 大津赤十字病院 |
| | 委員 | 奥村 秀太 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| 輸血細胞治療部門 | 部門長 | 山中 博之 | 近江八幡市立総合医療センター |
| | 副部門長 | 小川 久美子 | 長浜赤十字病院 |
| | 会計 | 三島 賀美 | 地方独立行政法人 市立大津市民病院 |
| | 委員 | 村島 智 | 社会医療法人誠光会 淡海医療センター |
| | 委員 | 吉田 正明 | 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 |
| | 委員 | 山下 朋子 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 委員 | 齊藤 健太 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| 臨床微生物部門 | 部門長 | 木下 愛 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 副部門長 | 近澤 秀己 | 近江八幡市立総合医療センター |
| | 会計 | 加藤 香 | 地方独立行政法人 公立甲賀病院 |
| | 委員 | 元中 恵 | 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 |
| | 委員 | 秋井 啓輔 | 滋賀県立総合病院 |
| | 委員 | 西野 広将 | 長浜赤十字病院 |

| | | |
|----|-------|---------------|
| 委員 | 高橋 春菜 | 大津赤十字病院 |
| 委員 | 中村 華菜 | 彦根市立病院 |
| 委員 | 谷川 翔平 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |

遺伝子・染色体部門

| | | |
|------|-------|---------------|
| 部門長 | 大森 康旨 | 大津赤十字病院 |
| 副部門長 | 植村 宗弘 | 滋賀県立総合病院 |
| 会計 | 岩本 望 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| 委員 | 中西 良太 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |

VIII 事業予算